

# 風 かせ カゼ

2001. 3-17発行 NO. 31

## ◇嘆異抄の五条から

お念仏とは何であるか。お念仏の本質はどう捉えたらよいかを短いご文の中で厳しくご教示いただいているのが、嘆異抄の第五条です。「親鸞は父母の孝養のためとて、一辺にても念仏したること、いまだそうらわず。そのゆえは…」と、あります。ご開山はお念仏を手段として用いることを嫌われました。父母の孝養のため、家内安全のため、何々のためと、念仏を手段道具につかうのではなく、そのゆえは…に記述されていますように報謝のための念仏でありたいと申されております。私たちはとにかく私の願い希望を満たすために念仏を利用しがちですが、心したいものです。病気が治るために念仏を申すのではなく、病の中からでもそれを超え、病のなかからでも喜びが生まれるお念仏を持ちたいものです。

## お中日には皆さんでお正信偈を

今年もお彼岸のお中日（20日）1時よりご本堂でご参詣の皆さんと一緒に お正信偈 を読誦してご法縁を深めさせていただきます。時間を都合つけ是非お参りください。

## ◇今月の安楽寺伝道掲示板

念佛とは

我が我に対話する

道である

藤代聡磨



〒105-0014

東京都港区芝1-12-18

安楽寺

03-3451-1509